

平成30年度入学生 キャリア教育全体計画書

学校番号	10	学校名(課程)	須坂高等学校(全日制)
------	----	---------	-------------

1 全体目標

○ 好奇心に基づいて人々・社会・世界について知り、探究心に基づいて興味を持ったことを深く掘り下げる。その中で、コミュニケーション力、企画力、リサーチ力といったこれから社会に出て行くのに必要な能力を磨きながら、自分の世界観を磨く。互いの価値観を尊重しながら切磋琢磨し、高い目標に向かって前進できる人間を育てる。

2 現状・課題

おとなしく真面目だが、主体性に欠けるところがあり、指示待ちの生徒も多く見られる。与えられた学習課題や、部活動にはおおむね真面目に取り組むが、枠を越え、殻を破って横のつながりをつくったり、深く探究を行ったりする生徒は多いとは言えない。

3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力を含める。学校で言い換えた力でもよい

- a 大人を含め、様々な立場や背景を抱えた人と話ができる。
- b クラスの友人などと分け隔てなく話ができ、お互いを刺激し、高め合うことができる。
- c 自分の狭い世界観や価値観を揺すぶるような出会いを多く持つことができる。

4 内容

指導項目	指導方針〈対応する項目〉
①自己の在り方、生き方を考え、将来設計と社会参画の意識を醸成する	ア 進路講話、進路ガイダンス、面談 <①②④> ・進路講話により、進路選択や大学入試の現状について学び、将来適切な進路に進むことができるよう情報提供する。 ・進路ガイダンスにより、「学びの設計書」の概要をつかみ、生涯にわたる主体的な学びの姿勢を醸成できるようにする。
②仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む	イ 職業(社会)体験、大学・企業見学、信大連携講座 <①②③④> ・職業(社会)体験により、その職業の仕事の内容、どんなスキルが必要か、またその職に就くまでのプロセスや、職業人としての経験などを学ぶ機会をつくる。また、学んだことをプレゼンテーションの形で発表する(土曜講座)。 ・大学・企業見学により、大学や職場の雰囲気をつかみ、高等教育でどのようなことがなされているのか、企業の中でどのような生産活動がなされているのか、について見聞きし、まとめる。 ・信大連携講座では、信大工学部での研究内容に触れながら、大学で学ぶということはどういうことなのかイメージをつかみ、その後の学習活動の動機付けにつなげる。
③様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促し、将来の職業を考える	ウ りんどう祭(文化祭)などの学校行事 <①②> ・りんどう祭の役職をきちんとこなすことで、大きな組織の中で個としての責任を果たすことの重要性を学ぶと同時に、何かをつくりあげる喜びを味わう機会とする。 ・生徒会行事や部活動に主体的に関わることで、リーダーシップ、他者との協働性、コミュニケーション力、スケジュール管理、後輩の育成といったスキルを身につけさせる。
④卒業後の進路を選択し、実現をめざす	エ 模試や検定 <②④> ・土曜講座などで外部模試や検定を受験することで、自らの学力を客観的に捉え、次の学習への指針とする。また、将来の進路選択の一助とする。 オ LHR や各科授業(探究活動) <①②③④> ・1年後期(10月～3月)のLHRで、翌年度以降始まる「探究」の準備(グループ決め、テーマ設定、指導教員の決定、ガイダンスなど)を行う。 ・2年の「探究」においては、各グループが自ら設定したテーマについて調査・研究・発表を行う。発表の際は、各クラスの探究委員が運営を行う。探究活動全般を通じて、上記のリーダーシップ、他者との協働性、スケジュール管理などのスキルを養う。 ・各科の授業の中にも探究的要素を織り交ぜ、生徒を育成する。

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等〈実施学年〉
教科の授業	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科で、実生活や社会・世界と関連する分野に関し、実例などを用いて紹介したり、生徒に例を挙げさせたりして、各教科の知識が実際の場面で役立つという意識を持たせる。 ・グループ討議や発表の機会を多く持たせることで、各教科の専門性に対応した形で、コミュニケーション力や表現力、リーダーシップなどを育てる。
総合的な学習の時間 （「探究」）	<ul style="list-style-type: none"> ・2年の「探究」においては、各グループが「調査」、「研究」、「発表」の各場面においてPDCAを回し、各人が役割に基づいて、研究の質を高められるようにする。 ・2年の7月に「研究計画発表会」、12月に「中間発表会」、3月に「最終発表会」を行う。 ・3年次は、前期を中心として探究内容を論文にする作業を行う。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・進路講話（進路支援主任による。年間最低1～3回）により、進学に必要な情報を得る。 ・各種講演会（人権、薬物防止、性教育など）により、市民生活を送る一人の人間として最低限必要な知識を得、これからの生活の指針とする。 ・各種生徒会行事（りんどう祭、クラスマッチ、マラソン大会など）を通じて、1つの目標に向かって全員で作り上げていくことの重要性和難しさを学び、協働性を養う。 ・修学旅行（2年；台湾方面）において、異国の歴史や文化に直接触れることで、自分の世界を広げ、教科の学習の意欲向上につなげ、進路選択の1つの指針とする。
校外の体験活動 （就業体験活動等）	<ul style="list-style-type: none"> ・1年夏期休業中の「職業体験」により、職業人の仕事に直接触れることで、そこで必要なスキルや知識がどのようなものか理解する。また職業人の経験談を聞き、今後の進路選択に関し刺激を受ける。 ・2年の「探究」中のフィールドワークにおいて、外に出て様々な調査活動を行う。たとえば、観光地におけるインタビュー活動、自治体や企業・団体におけるデータ収集、図書館における資料収集などが挙げられる。 ・1年の「大学・企業見学会」において、大学や企業を直接訪問し、それぞれの研究活動や生産活動を理解し、各科で学んだ知識の中に位置付ける。 ・1～3年次に、「1日看護体験」などの就業体験情報を紹介し、 ・2年次にオープンキャンパスや「夢ナビライブ」などに参加することで、進学先選定の一助とする。
地域や産業界等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・1年の情報、英語表現の授業内でRESASを用いて、地域探究型学習を行う。須坂の課題を抽出し、具体的な解決法の提示をグループ単位で行う。 ・1年の「職業体験」において、OB・OG（同窓会）や地元の産業界の協力を得、生徒の受け入れを拡大する。 ・保護者執筆の「四阿おろしを身に受けて」を配布、通読させ、職業研究の一助とする。 ・生徒会の各種行事（りんどう祭など）で地域の方々と連携し、竜オブジェの建立、岩波講座の運営などを行う。また、須坂市主催の様々な行事に積極的に参加する。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事の事前指導・事後指導を充実させ、各行事に課題をもって取り組ませる。その中で、レポートや報告プレゼンテーションの内容をもって評価する。 ・「学びの設計書」を蓄積させ、各年度の学期ごとに活動の振り返りを行う。蓄積した内容をポートフォリオの形で提出し、評価する。
中学校との連携 （指導の継続性）	<ul style="list-style-type: none"> ・公開授業（5月、10月）や体験授業（7月）で中学生が高校の授業を見学したり、体験したりといった機会を提供している。 ・入学前に須高地域入学予定者・情報交換会を行い、個々の生徒の情報を共有し、中高の指導の継続性を図る。 ・入学後、「先輩訪問」という形で、各中学校の卒業生が母校に戻り、高校生活について語る機会をもらっている。
校内の推進体制	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援委員会を中心に、生徒の進路実現のための放課後の自習時間・教室の設定を行っている。 ・探究委員会を中心に、「探究」計画を策定し、教員研修やガイダンスの実施などを行う。 ・進路支援係、教務係、課題解決委員会を中心に、新しい校内の体制づくりや行事の見直しなどを行い、3年後に控えた大学入試新テスト、新しい調査書やeポートフォリオの導入などに対する対策を練り、生徒が十分な準備を行って臨めるような校内体制を整える。 ・各種の研修の実施に関しては柔軟に行い、継続的な実施が見込めるように、柔軟な形で内容の変更を行う。

5 学年別指導計画

	1 年	2 年	3 年
目標	○身近な話題について、好奇心をもって調べ、各教科の知識とつなげる。 ○校内外の行事に積極的に参加する。	○自分と社会・世界との接点を広げ、関わりをもつ取り組みを続ける。 ○校内外の創造的な活動に参与する。	○社会・世界について得た知識を深く掘り下げ、適切な形で他者に伝える。 ○表現するスキルを向上させる。
主な取組	○「学びの設計書」①～④ (紙媒体でのポートフォリオ) ○職業(社会)体験 ○大学企業見学会 ○信大工学部連携講座 ○りんどう祭などの各種学校行事	○「学びの設計書」⑤～⑧ (eポートフォリオ) ○探究(総合的な学習の時間) ○「夢ナビ」、オープンキャンパスなど ○りんどう祭などの各種学校行事	○「学びの設計書」⑨～⑩ (⑩は志望理由書) ○探究(総合的な学習の時間) ○オープンキャンパスなど ○りんどう祭などの各種学校行事
評価	・ポートフォリオの提出(前後期各1回) ・講演会などでのレポート提出 ・職業体験プレゼンテーション	・ポートフォリオの提出(前後期各1回) ・講演会などでのレポート提出 ・「探究」プレゼンテーション	・ポートフォリオの提出(前期1回) ・講演会などでのレポート提出 ・「探究」報告書の提出

年間指導計画と各取組の関連

*就業体験活動、校外活動は□で囲む

	教 科	総合的な学習の時間(1年次 LHR)	特別活動 等	その他(面接・評価等)
1 年	4 初回授業で各教科のオリエンテーションを行い、どのような姿勢でその教科の授業を受講し、課題に取り組むべきか、明確に提示する。 「情報」授業内でメディアリテラシー教育をさらに詳細に行う。 7	図書館ガイダンス 最大のメディアの1つ = 書籍に触れ、情報メディアの利用に仕方について学ぶ。 職業体験・事前指導 体験のルールとともに、どんな点に着目して行うべきかを学ぶ。 進路希望調査	メディアリテラシー教育(SNS講演会) 進路講話 生活指導講話 全校マラソン大会 芸術鑑賞 SST講演会(ワークショップ) 文化祭準備 性被害防止講演会	「学びの設計書①」(担任面談) 自分の現在の姿と、将来のあるべき姿との間のギャップを意識させ、高校時代にどんなことをすべきか、考えさせる。 「学びの設計書②」 高校生活でうまく行っている部分とそうでない部分を見極め、どのような行動をとれば解消できそうかを探る。
	夏 休		職業体験 事前に生徒自身がアポをとっておいた企業、団体などに出向き、職業体験を行う。(数時間～1日) 信大工学部連携講座(希望者) 工学部での実験実習など	
	9 「情報」授業内では2年次の探究活動の前哨戦として、興味を持った内容に関して深く、発表し、最終的に論文の形でまとめる活動を行う。 「英語表現」授業内ではグループで地域の課題について調べ、英語で発表する活動を行う。 12	進路希望調査 2年次科目選択 「探究」オリエンテーション 「探究」予備調査	「職業体験」事後指導(プレゼンテーション) 小論文指導 進路希望調査 薬物乱用防止講演会 大学企業見学会 信大の各学部や長野県の各企業を訪問し、ふだんの大学の様子や研究環境について知り、また企業の生産環境やふだんの活動について学ぶ。 GTEC	「前期の振り返り」 自分がどの分野でどのように成長したのかを明確にする。 「学びの設計書③」 文理選択の理由を文章化し、そのためにとった行動を記録する。 「説得力はどのようにしたら生まれるか」について考えさせる。
	1 「情報」の締めくくりとして、3月に代表者が発表を行う。発表の一部は英語で行う予定。 3	「探究」課題設定のための予備調査 「探究」課題設定 「探究」計画策定	信大工学部連携講座 工学部での講演会 情報発表会 「情報」授業における研究のうち、すぐれたものを発表する機会。	「学びの設計書④」 探究活動の計画策定をする。 「後期の振り返り」 PDCA サイクルの Plan と Do の部分に着目し、自分の計画のどの部分まで実行できたのか振り返る。
春 休		学習合宿(希望者)		
2 年	4 「探究」のための基礎資料となる部分を各教科の授業で伝授。 「探究」計画の予備発表も各教科の授業内で行う。 7	「探究」計画策定 「探究」計画発表 英語検定受験計画の策定 進路希望調査	進路講話 全校マラソン大会・芸術鑑賞 夢ナビライブ オープンキャンパス(OC) 修学旅行事前指導 台湾の歴史・文化に関する映画を観たり、詳細な計画を立てたりする。 文化祭準備	「学びの設計書⑤」 探究活動の計画を具体化し、計画のどの事項がどの段階でどの程度できあがっているべきなのか、指標をつくる。 「学びの設計書⑥」 興味関心や将来設計を踏まえて、大学研究に入る。同時にOCの計画など行う。
	夏 休	「探究」調査・研究開始	信大工学部連携講座 オープンキャンパス	

	9 「探究」に関わりのある分野について、各科で意識的に、授業で取り上げる。また、アクティブラーニングの手法も積極的に取り入れる。 12	3年次科目選択 「探究」中間発表 外部講師も招き、研究に足りない点を指摘いただく。 進路希望調査	修学旅行(台湾) GTEC	「前期の振り返り」 「学びの設計書⑦」 探究活動やOCなどを踏まえ、志望大学の選択の作業に入る。3年次の科目選択に反映させる。
	1 3	「探究」最終発表会 (1学年情報発表会と同) 外部講師も招き、高大連携の観点からも活発な議論を行う。		「後期の振り返り」 「学びの設計書⑧」 探究活動および自分が2年間にやってきた特別活動の記録を整理し、eポートフォリオの形で提出する。同時に、3年次に向け志望校を確定させ、「志望理由書」の執筆を行う。
	春 休		学習合宿(希望者)	
3 年	4 各強化で記述答案の方法と評価について、授業で取り上げる。 7	「探究」論文作成 グループで役割分担をしながら、「序論」→「リサーチクエスチョン」→「方法」→「結果」→「考察」の順に、研究の全容をまとめ、文字化する。 進路希望調査	進路講話 全校マラソン大会 医学部医学科説明会 芸術鑑賞 文化祭準備・反省 小論文指導	「学びの設計書⑨」 探究活動の総まとめをしながら、志望校の「志望理由書」を完成させ、大学での「学びの設計書」の0号とする。
	夏 休		学習合宿(希望者) 各大学入試研究会 志望校ごと大学の勉強会を開き、傾向と対策をおさえる。	
	9 添削指導を開始しながら、記述力の向上につとめる。 12 「新テスト」特編授業(1次特編)	進路希望調査 進路講話 大学入試の研究(含む「新テスト」) 志望理由書の執筆 小論文対策 面接指導	「新テスト」出願準備(願書提出) AO入試出願準備および出願 推薦入試出願準備および出願 私立大学出願準備および出願 AO・推薦入試	「学びの設計書⑩」 第1志望～第3志望、私立大学の入試日程まで決定し、どのような戦略で入試を乗り切るのか、シミュレーションさせる。
	1 国公立2次対策特編授業(2次特編) 3		「新テスト」 国公立大学出願準備および出願 私立大学一般入試 国公立大2次試験	